オーディオ実験室収載

My Sonic Signature Gold の活用(2)
――アナログと他メディアの比較試聴(2) ―

１．はじめに

前報(1)の続きでモーツアルトの交響曲 40 番と 41 番について CD と SACD を聴いていきます。

２．My Sonic Signature Gold の試聴結果

前報(1)に述べた方法で試聴していきます。

【CD】

EMI 5 67601　交響曲 41 番　ビーチャム指揮ロイヤルフィル

LINN RECORDS CKD003 交響曲 40 番

Jonathan Brett 指揮 English Classical Players

EMI TOCE 13003　交響曲 40 番 41 番　クレンペラー指揮フィルハーモニア

SONY CLASSICAL SPGR 2539　交響曲 40 番　セル指揮クリーブランド

【SACD】

SONY CLASSICAL SPGR 751　交響曲 40 番　セル指揮クリーブランド

３． My Sonic Signature Gold の試聴結果

ビーチャム指揮ロイヤルフィルの 41 番は、淡々としてすっきりと響いてくる演奏です。

Jonathan Brett 指揮 English Classical Players の 40 番は、これ以上速く演奏できないのではないかと思われるくらいのアップテンポの演奏で、もう少しゆったり聴きたいと思わせるものです。

クレンペラー指揮フィルハーモニアの 40 番 41 番は、クレンペラー独特の抑揚に揺さぶられるモーツアルトです。

セル指揮クリーブランドの 40 番は 1970 年東京文化会館でのライブ録音で、ライブらしい生き生きとした躍動感ある演奏です。

同じくセル指揮クリーブランドの 40 番のアナログマスターからのリマスターSACD 盤は、1970 年のライブ録音よりゆったりとした演奏で、アナログマスターらしい味わいが SACD にも残っています。

４．まとめ

こうやって前報(1)に引き続いて比較して聴いていくと、それぞれの演奏の味わいがありますが、クーベリック指揮バイエルン Rundfunks のアナログ盤が My Sonic Signature Gold と Stage 3010 の組み合わせの効果で芳醇な味わいが図抜けています。ディジタルではビーチャム指揮ロイヤルフィルの 41 番の CD 盤とセル指揮クリーブランドの 40 番のリマスターSACD 盤が、前報(1)のベーム指揮ベルリンフィルの MQA-CD 盤とともに好ましく感じられます。

以上